

[報告]

2009年度 「学びの杜・学術コース」の企画と実施に関する報告

松 下 晴 彦*

2009年度の「学びの杜・学術コース」は、生命科学探究講座、地球市民学探究講座、コンピュータ活用探究講座、電子工学探究講座、文学探究講座、視覚文化探究講座、人間発達科学探究講座を企画し、6月から8月にかけて開講した。いずれも附属高等学校と近隣の一般校に向けて広報し、開講したが、これらのうち、地球市民学探究講座と生命科学探究講座については、受講生には原則として全回（10回）の出席をもとめ、レポートなどを含めた要件を満たした附属校生徒には単位を認定した。その他の講座の開講の仕方について、2008年度と異なるのは、原則として全回出席を前提とするものの、希望によっては各回別の受講を許可した点である。これは、高校生にとって、「学びの杜」の受講と、所属の学校の行事、部活動その他のスケジュールとの調整が例年困難であることを勘案しての措置である。「学びの杜」は、名古屋大学の研究者による学問の最前線の知の探究の成果や方法、楽しみ方をわかりやすく紹介、展開するという趣旨で開講されているが、この趣旨と近年ますます盛んとなり恒例の夏期の行事となった各種の「キャンパス見学」やオープンキャンパス、模擬授業などの差別化が課題となっている。本学の各部局紹介という趣旨を全く否定するものではないが、高大接続の課題についてはより広い展望の中で探究していくべきではないかと考える。

以下は、2009年度の「学びの杜・学術コース」の企画内容の概要である。

[地球市民学探究講座]

地球規模のさまざまな問題・貧困、民族紛争、多文化共生などを取りあげながら、異文化理解の方法や地球市民としてのあり方について考えます。

日	時 間	担当者	テーマ	概 要
6月6日（土）	10：00-12：00	齋藤 洋典	グローバル化と他者理解	人の身になって考えるとはどういうことか。同じ文化及び異なる文化の背景をもつ人々が互いに理解しあうことの意味とその方法を一緒に考えます。

* 中等教育研究センター長

6月20日(土)	10:00-12:00	山田 肖子	学校(教育)に行く意味を考える	日本では当たり前になっている学校教育が普及していない地域が世界には沢山あります。そのような地域で、教育機会が広がるということは何を意味するのでしょうか。私たちはなぜ学校に行くのでしょうか。
6月27日(土)	10:00-12:00	佐藤 良子 (愛知淑徳大学)	国民的ステレオタイプ	ステレオタイプとは何か?なぜ人々は他の国民の人たちに対してステレオタイプを持つのか?こうしたステレオタイプには信憑性があるのか?このような質問に答えていきます。
7月4日(土)	10:00-12:00	野田 真里 (中部大学)	世界の貧困	3秒に1人なくなる子ども—他人事ではない世界の貧困。グローバル化の進展とともに拡大する経済社会格差と深刻化する貧困問題について、私たちの生活との関連において、参加型ワークショップの手法を用いて考えます。
7月11日(土)	10:00-12:00	野田 真里 (中部大学)	国際協力と地球市民	貧困なき地球社会のために—他人事ではない日本の、そして世界の貧困問題の解決のために、何をすべきなのか、そして私たち市民は何ができるのかについて、参加型ワークショップの手法を用いて考えます。
7月18日(土)	10:00-12:00	中西 久枝	戦争と平和1:イスラーム世界とは何か	異なる世界観、価値観をもつ日本とイスラーム世界の人々との共存を考えます。
7月21日(火)	10:00-12:00	服部 美奈	東南アジアと国際教育協力	東南アジア地域における国際教育協力のあり方の概観と、地球規模の問題に取り組む団体を取り上げながら、国際教育のあり方について考えます。
7月22日(水)	10:00-12:00	サガヤラージ (南山大学)	多文化共生社会を誇るインド	インドにおいて多文化・多民族・多宗教が共存(共生)するあり方を事例として紹介していきます。そこから、自文化を保持しつつ、多様性を認めるグローバルなあり方を考えていきます。
7月29日(水)	10:00-12:00	中西 久枝	戦争と平和2:イスラーム世界と欧米	異なる世界観、価値観をもつ日本とイスラーム世界の人々との共存を考えます。

7月31日(金)	10:00-12:00	岩城 奈巳	日本人の英語教育に対する学習不安	日本人は外国語、特に英語を学ぶにあたり、いろいろな不安を感じます。自分の発音がおかしいのではないか、間違えることによって人に笑われるのではないかなど、多くの不安に直面します。こうした英語学習の不安について、一緒に検討します。
----------	-------------	-------	------------------	--

定員：40名（35名：名大附属校生、5名：その他）

申し込み締め切り：6月1日（月）

担当部局：国際開発研究科、教育発達科学研究科、情報科学研究科、留学生センター

[生命科学探究講座]

第一部は、『生物多様性からみた生命』について、博物館で学びます。第二部は、『生命を支えるしくみ』について、生命農学研究科の先生方に講義をしていただきます。

第一部 「生物多様性からみた生命」

日	時間	担当者	テーマ	概要
7月21日(火)	10:00-12:00	吉田 英一	生物が造る様々な鉱物—地球上の物質循環と生命—	生命体を構成する物質の循環と鉱物との関係について考える。鉱物標本観察も行う。
7月21日(火)	13:00-14:30	新見 倫子	骨から学ぶ(1): 出土骨からみえるもの	遺跡に残っている骨から昔の人の生活を考える。出土した魚骨の分類も行う。
7月22日(水)	10:00-12:00	西川 輝昭	生物多様性と進化	生物の多様さと進化について、理論と実際の両面から考える。ナメクジウオ標本の観察も行う。
7月22日(水)	13:00-14:30	蛭薙 観順	骨から学ぶ(2): トリの骨から見えるもの	骨格標本を手にとりて観る、感じる、考える。
7月27日(月)	10:00-12:00	西田佐知子	植物から学: 生命の多様性	食虫植物から虫をだますランの花まで、不思議な植物の進化から、生物多様性の謎を考える。
7月27日(月)	13:00-14:30	博物館見学	レポート作成	

第二部 「生命を支えるしくみ」

8月1日(土)	10:30-12:00	小田 裕昭 (生命農学研究科)	食べ物はどうやって栄養になるか	食べたものが身体に取り込まれる消化吸収のメカニズムと、それが生物にとってどのような役割を果たすかについて学ぶ
8月1日(土)	13:00-14:30			
8月3日(月)	10:00-12:00	大場 裕一 (生命農学研究科)	生物発光のしくみ	様々な光る生き物を紹介し、その発光のメカニズムと最先端研究への応用について解説する

8月8日(土)	10:00-12:00	上野山賀久 (生命農学研究科)	生殖を科学する	動物の生殖機能は脳で制御されている。脳とホルモンのはたらきを中心に、生殖機能をコントロールするメカニズムについて解説する。
---------	-------------	--------------------	---------	---

定員：30名（30名：名大附属校生、5名：その他）

申し込み締め切り：6月5日（金）

担当部局：名古屋大学博物館、生命農学研究科、附属高等学校

[文学探究講座]

最前線で活躍する研究者による、『日本語の不思議』『キリストはどんな顔だったのか?』『ヘレニズム文明を発掘する』『日本語に入ったインド古典語サンスクリット(梵語)』の講義です。

日	時間	担当者	テーマ	概要
7月31日(金)	10:30-12:00	町田 健 (言語学)	日本語の不思議	日本語は難しいとか、最近は日本語が乱れているとか言われます。日本語は難しいところもあるし、意外にやさしいところもある言語です。このことについて、言語学という学問の視点から解説します。
	13:00-14:30	木俣 元一 (美学美術史学)	キリストはどんな顔だったのか?	キリストは実際にはどんな顔だったのか。美術作品を資料として時代をさかのぼって行くと、意外な事実が浮かび上がってきます。キリストとは何者なのか、という謎に迫ります。
8月3日(月)	10:30-12:00	周藤 芳幸 (西洋史学)	ヘレニズム文明を発掘する	ギリシア文明とオリエント文明との出会いから生まれたヘレニズム文明。この授業では、その時代に生きた人々の暮らしを、エジプトで行っている遺跡の発掘成果から復元します。
	13:00-14:30	和田 嘉弘 (インド文化学)	日本語に入ったインド古典語サンスクリット(梵語)	古代インドで使われていたサンスクリットの単語が、お経などを通して日本語に取り入れられました。こういった単語の特徴を考えてみたいと思います。

定員：50名 場所：文学研究科(予定)(全回出席を前提としていますが、1日のみの受講も受けつけます。)

全回修了した受講生には「修了証」を授与します。

申し込み締め切り：7月24日(金)

担当部局：文学研究科

[視覚文化探究講座—『視覚力』をつける—]

私たちは視覚の時代に生きています。アニメ、ゲーム、TV、インターネット、等等、多くの情報が、目に見える形で提供されます。この講座では、そのどこにも存在している写真を取り上げて、視覚の力について考えてみます。アートの最先端の表現における写真を紹介し、また参加者が実際に実験的な写真を撮るを試みるなかで、見る力、『視覚力』を身につけましょう。(受講生は、デジタルカメラやケータイ電話など撮影のできる器械を持参してください。)

日	時間	担当者	テーマ	概要
7月27日(月)	10:00-12:00 13:00-15:00	茂登山清文 (情報科学研究科)	ポートレイトを見る ／撮る	アートの写真の最先端を見ましょう。そして、みんなでポート例と写真を撮り、視覚の伝達力について考えます

定員：25名

申し込み締め切り：7月21日(火)

担当部局：情報科学研究科、名古屋大学ヴィジュアルスタディーズネットワーク

[人間発達科学探究講座]

教育と人間発達について探究する5つのコース、『第1コース(生涯教育開発)：生涯にわたる学びと人間形成』『第2コース(学校教育情報)：人と学ぶ楽しさと意味の探究』『第3コース(国際社会文化)：異文化との出会いと自己探究のドラマ』『第4コース(心理社会行動)：人間の心と行動を解き明かす』『第5コース(発達教育臨床)：人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ』を開講します。

「第1コース(生涯教育開発)：生涯にわたる学びと人間形成」

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月21日(金)	10:30-12:00 13:00-14:30 14:45-16:00	寺田 盛紀 李 正 連 ほか	生涯にわたる学びと 人間形成	私たちは社会に働きかけると同時に、社会の中で形成されます。このコースでは、人間形成に関する社会の仕組みと、逆に社会の中で私たちがどのようにつくられていくのかという視点から、社会と社会における「自分」の存在について考えていきます。

「第2コース(学校教育情報)：人と学ぶ楽しさと意味の探究」

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月12日(水)	10:30-12:00 13:00-14:30 14:45-16:00	的場 正美 柴田 好章 ほか	人と学ぶ楽しさと意味の探究 —学ぶ立場から教える立場へ—	みなさんは、小学校から高等学校まで沢山の授業を、「学ぶ」側から体験してきました。このコースでは、そうした体験を振り返りながら、今度は「教える立場」から授業のあり方を考えることによって、授業という人間形成の場を捉え直してみます。授業を企画し、実施するための基本を学んだ上で、自ら選んだテーマで、教材や発問を工夫し、模擬授業をしてみます。

「第3コース（国際社会文化）：異文化との出会いと自己探究のドラマ」

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月24日（月）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	早川 操 松下 晴彦 ほか	異文化との出会いと自己探究のドラマ	現代社会は、国際化・グローバル化が多くの問題をもたらしながら加速的に進展していく社会です。このコースでは、先ず異文化の人びととの出会いと語り合いを体験してもらい、次にその体験から自文化を再発見し、自己を表現しながら、（異文化間の）相互理解の重要性について考えていきます。

「第4コース（心理社会行動）：人間の行動と心を解き明かす」

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月26日（水）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	石井 秀宗 ほか	心理的なものを測る	どうしてPISAの得点が低いと、日本の子どもは読解力が低いと言われるのでしょうか。読解力って何でしょうか。それが高いとか低いとか、どうやって測っているのでしょうか。読解力に限らず、国語、数学などの学力、人の性格、また、コミュニケーション能力などは、物理的に存在するモノではなく、人の心から生み出された心理的なものです。このコースでは、自分達でテストを作るという体験を通して、心理的なものをどうやって測るのかについて学びます。

「第5コース（発達教育臨床）：人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ」

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月27日（木）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	平石 賢二 ほか	人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ	あなたは、自分自身の人とのつきあい方の癖を知っていますか？このコースでは、臨床心理学で用いられている技法を応用して、自己理解と他者理解の手助けとなるような体験学習を行います。それを通して、臨床心理学の基礎にふれてもらうことを目指します。

定員：各コース15名

申し込み締め切り：7月31日（金）（各コース別に募集します。受講希望が多数の場合は、抽選となります。）

複数のコース選択可。全コースを修了した受講生には「修了証」を授与します。）

担当部局：教育発達科学研究科

[電子工学探究講座—不思議と英語が聞こえてくる?!—]

なぜ、日本人は英語の聞き取りで苦勞するのか？この講座では英語を聞き取りやすくする電子工学的工夫について分かりやすく紹介します。試作器はおみやげに差し上げますので、英語力アップに活用してください。

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月10日(月)	10:00-12:00	古橋 武 ほか	不思議と英語が聞こえてくる！	英語の聞き取りで苦勞していませんか？英語を聞くことに神経を集中しても、5分ともたないことはありませんか？どうすれば聞き取れるのか？本講座では、英語を聞き取りやすくする電子回路「英語補聴器」の分かりやすい紹介をします。講師自身が「耳からうろこがおちた?!」体験を語り、皆さんには「英語補聴器」を試作してその効果を実体験してもらいます。

定員：25名 場所：工学部3号館322講義室（中棟2階）予定

申し込み締め切り：7月24日（金）

担当：工学研究科 古橋研究室

[コンピュータ活用探究講座—数学・物理が見えてくる?!—]

数学・物理の理解に苦しんでいませんか？この講座では、コンピュータの活用によりイメージで高校数学・物理を理解しやすくする工夫を紹介します。入試問題を題材にコンピュータを駆使したビジュアル解法も紹介します。

受講資格：物理1と数IIBを履修中もしくは履修済みであること。

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月10日(月)	13:00-14:00	古橋 武 ほか	数学物理が見えてくる！	数学物理の理解に苦しんでいませんか？イメージがなかなか描けなくて、問題が難しくみえたりしていませんか？この講座では、コンピュータの活用によりイメージで高校数学物理を理解しやすくする工夫を紹介します。実際の試験問題を題材に、コンピュータを駆使したビジュアル解法も紹介します。

定員：25名 場所：工学部3号館322講義室（中棟2階）予定

申し込み締め切り：7月24日（金）

担当：工学研究科 古橋研究室